

建通新聞

令和5年9月7日（木曜日）

足立議員

中小河川 事前防災が課題

台風7号の被災調査終え

足立敏之参院議員は、台風7号による鳥取県、兵庫県、京都府の被災状況調査を終え、「特に中小河川での事前防災が大きな課題になっている」と感想を語った。

今回の視察では、8月15日に近畿地方に上陸した台風7号の被災状況を調査した。鳥取市佐治町、兵庫県香美町、京都府福知山市などの被災状況を地元建設業者や国土交通省職員と見て回った。

佐治町では佐治川沿いの国道482号が一部陥没、橋梁も崩落し写真したが、他地域も含めて犠牲者はなかった。

7月に実施した九州地方の被災状況調査も含めて足立議員は、「国が管

理する河川ではこれまでの防災・減災、国土強靱（きょうじん）化のための治水対策の効果がでており、重大な被害に至らなかったことが分かった」と振り返った。

一方で、「線状降水帯による集中的な豪雨に見舞われた中小河川での被害が大きく、今後どのように事前防災を行うかが大きな課題と考えられる」とした。

